

「大人と手をつないで歩くのを嫌がる」と思ったら？



なぜなの？

- ・自分のしたいことがあり、じゃまをされると感じている。(対応方法①②)
- ・手と手が触れるのを不快に感じている。(対応方法②③)

「こうしたいんだ！」という自分の思いをはっきり
持っていて、それを相手に伝える力がありますね！



どうしたらいい？(対応方法)

①じゃまをしていない、我慢すれば自分の楽しみがあるとわかるように伝えよう。

例1：散歩のとき、本人の见たいものがある場合は、ゆとりのある
範囲で大人も一緒に付き合う。

例2：買い物のとき、スーパーの地図を見せながらルートを伝え、
最後にこどもの楽しみ場所へ行く。

②そばにいただけで大丈夫な場合は、手をつながないようにしよう。

③服の一部を持つ、手袋をつける、タオルの端と端をお互いが持つなど、本人が大丈夫な状態を見つけよう。

(本人の楽しい経験や活動だと手をつなぐことが大丈夫な時もあります。)

※危険な場合は、命を守るためにどんなに嫌がっても手をつなごう。

危険な時に手をつなげない場合は、短い言葉でわかりやすく説明し、その場から離れることも大切です。



困ったり迷ったりしたら、いつでも相談してくださいね。

三原市こども安心課 電話0848-67-6061

本郷保健福祉センター 電話0848-86-3609

久井保健福祉センター 電話0847-32-8551

大和保健福祉センター 電話0847-34-0960